



まほろばの丘から



令和6年1月10日 文責 校長 江口 尋信

能登半島地震に寄せて

あけまして おめでとうございます。昨年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願いたします。

さて、新年を迎え、家でのんびり過ごしていると、石川県能登地方を震源地とする震度7の地震が発生したというニュースが飛び込んできました。予定されていたテレビ番組は、各局とも地震に関するニュースに切り替わり、事の重大さを知りました。実は、昨年12月中旬に石川県金沢市の小学校へ視察研修に行き大変お世話になりました。ニュースの映像で、ほんの半月前に降り立った金沢駅の電光掲示板が大きく揺れ、停電する様子が映し出されました。お世話になった金沢の先生方や子どもたちは無事だろうか、心を痛めているところです。今回の地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災者の皆様に心からお見舞いを申し上げます。

冬休み前の全校朝会で、子どもたちに「命」の大切さについて話をしました。そして、昨日の全校朝会では、黙祷をおこないました。今回の能登半島地震を通して、子どもたちがより一層、命を大切にすることを考えてくれることを願っています。

一年の計は元旦にあり

「44日」と「49日」。さて、何の日数かお分かりでしょうか。「44日」は卒業式までの日数で、「49日」は、在校生（1年生～5年生）の修了式までの日数です。4月の進学や進級は、まだまだ先のように感じるかもしれませんが、現学年・学級で過ごす日数はそう多くありません。今月19日には太宰府西中学校の入学説明会がおこなわれます。残り3ヶ月は、あっという間に過ぎていくのではないかと思います。次年度に向けて充実した毎日を送りたいものです。

さて、よく「一年の計は元旦にあり」と言われます。中国の「月令広義」という古い書物が由来であるという説もありますが、三本の矢の教えで有名な戦国武将・毛利元就の「一年の計は春にあり 一月の計は朔（ついたち）にあり 一日の計は鶏鳴（けいめい ※早朝のこと）」が語源になったという説もあるそうです。いずれにしても、「物事は初めが大事である。しかも、しっかりとした計画のもと着実に行え。」という先人の教えです。

「光陰矢の如し」。冒頭にも書きましたが、月日が経つのは早いものです。「蒔かぬ種は生えぬ」。行動に移さなければ何も変わりません。新年を迎えた今、1年の計画をしっかりと立てて、行動に移すことで、一日一日を充実させていきたいですね。

大谷選手のグローブが届きました！

ニュースとして大きく取り上げられていましたが、大谷選手が全国の小学校に寄付したグローブが昨日本校にも届きました。大切に使いたいと思います。本校から第二の大谷選手が生まれかもしれません。（右：教育長からグローブを受け取る代表児童）

